



## 地域貢献の若手表彰「げんき大賞」

# 運河清掃グループに

## 小樽プロジェクト「評価うれしい」

地域に貢献する次世代の担い手を表彰する「道新地域げんき大賞」に、後志管内からは若者による清掃活動「小樽運河クリーンプロジェクト」が選ばれた。中心メンバーの一の一人で、清掃活動を始めた湯谷拓朗さん(27)は「主体的に参加する一人一人の活動が評価されてうれしい」と受賞の喜びを語る。

(中野訓)

午前5時半、胴付き長靴を着用した約20人の若者が小樽運河に流れ込む古発川の冷たい水の中に入り、上流から流れてきたごみを拾い上げる。一年を通じて毎週末に実施する清掃活動だ。

活動のきっかけは、会社員の湯谷さんが3年前、参画していた札幌の経営者塾で「運河をきれいにして、大学時代にお世話になった小樽に恩返しする」と誓いを立てたこと。

1人で清掃を始めると、ペットボトルや傘、パソコン、家電製品などさまざまごみが落ちていた。「観光の街、小樽のシンボルが汚れていることに、やりきれない思いでした」

数カ月すると活動の輪が広がった。知人に誘われたり口コミで知つたりして活動に参加する市民や小樽商大生、高校生らが次第に増加。それが可能な時に参加する方針

で、これまで約160人が清掃活動に携わった。

参加者の中から、運河周辺や海岸で24時間耐久ごみ拾いをしたり、町おこしイベントでボランティアをするなど、自発的に新しい活動に挑戦する人も現ってきた。湯谷さんは「ごみ拾いがきっかけで生まれた人と人とのつながりが、小樽を元気にする別の活動に発展したらうけてきですね」と楽しげに話していた。